

## 契約の適正化に関する取組について

平成22年4月  
独立行政法人国立循環器病研究センター

### 1. 事前審査

- ① 調達必要性や仕様書等の作成について、契約担当者以外を含めた複数の者で構成される仕様書策定委員会において、類似機器等を比較するなど適正に決定している。
- ② 直接契約に関与しない職員及び法人外部の者で構成される契約審査委員会において、1,000万以上の競争契約について、より競争性の高い契約形態への移行や競争性の阻害要因の有無等を点検している。
- ③ 法人運営上重要な一定額以上の契約（建物整備3億円、その他5,000万円以上）については、理事会の承認を必要とし、外部理事・監事の意見等が反映される仕組みとなっている。

### 2. 契約の手続き等

#### (1) 調達コスト算定について

- ① 予定価格については、過去の契約実績（対定価率）、複数業者からの参考見積額、他の医療機関への価格照会等の複数の資料等を比較検討し積算している。
- ② 調達企画室を総務課とすることで、資金調達やコスト管理を担当する財務経理課と組織上区別し、契約に対するコスト管理を互いに牽制することにより、予定価格の妥当性等を点検している。

#### (2) 情報公開

- ① 入札公告をホームページ及び院内に掲示している。
- ② 予定価格が100万円を超える契約について、契約締結の日から72日以内にホームページで公表している。

#### (3) 公告期間

- ① 土日・祝日を除き、10日以上公告期間を規定している。

### 3. 事後評価

- ① 契約審査委員会において、四半期毎の取引業者別の契約状況を点検している。
- ② 内部監査において、契約審査委員会の実施状況等に係る監査を実施している。

#### 4. その他

・入札方法について、次の事項に取り組んでいる。

① 公告内容

公告情報から事業規模等が容易に推測できるよう詳細に記載する。

② 公告方法

入札公告は、全てホームページに掲載、院内掲示を行う。

③ 公告期間

土日・祝日を除き、10日間以上と規定している。

④ 資格要件

当該契約に必要以上の業務実績等、必要性が低い要件を設定しない。

⑤ 仕様等

ア 業務内容を具体的に分かり易く記載する。

イ 特定の者が有利となる仕様としない。

ウ 発注コスト、地域性等の諸条件に考慮し、適切な発注単位とする。

エ 複数業者から参考見積を徴取する。

⑥ 参加者への配慮

ア 契約に応じた履行期限等とし、契約期間についても、十分な期間を設け履行しやすくなるよう配慮する。

イ 契約に応じ、競争参加しやすい条件(複数年契約)とするなど配慮する。

⑦ 公募型企画競争契約の積極的な採用

一者応札の原因の1つである、価格のみの競争による調達だけでなく、契約の性質又は目的から価格のみならず、企画、技術の提案も併せて評価できる公募型企画競争契約を積極的に採用している。